

1/8  
5種

# 高浜3号機運転再開 関電

関西電力は7日午前、高浜原発3号機（福井県高浜町）の原子炉を起動し、運転を再

開しました。8月3日から定期検査をしていた。午後9時ごろに核分裂反応が連続す

る「臨界」に達し、9日に発電と送電を再開します。営業運転への移行は12月7日の予定。

働し、今年8月に定期検査入りして停止していました。

検査終了による同様の再稼働は、県内では8月の高浜4号機に続くもの。県内で運転状態の原発は、関電大飯原発3、4号機（同県おおい町）と合わせて4基となりました。高浜3、4号機は、プルトニウム・ウラン混合酸化物（MOX）燃料を通常の原子炉で使用したフルサーマル運転です。



抗議の声を上げる、さとう県議（手前）ら＝7日、福井市

## 原発ゼロが民意 福井県庁前など住民ら抗議

関西電力高浜原発3号機（福井県高浜町）が7日、再稼働を強行し、県庁や高浜発電所の前では住民らが集まり、「即刻中止を求め

る」と、抗議の声を上げました。

高浜3号機は、再稼働を認めない福井地裁の仮処分決定が取り消されて2016年1月

に再稼働したものの、今度は大津地裁の仮処分決定により運転を停止。しかし、大阪高裁が運転を認める決定を出して昨年6月に再稼

働した。高浜3号機は、再稼働を認めない福井地裁の仮処分決定が取り消されて2016年1月に再稼働したものの、今度は大津地裁の仮処分決定により運転を停止。しかし、大阪高裁が運転を認める決定を出して昨年6月に再稼働した。

福井市の県庁前では、横断幕をひいてスタンディングを実施し、原発問題住民運動県連絡会の林広員事務局長は「原発ゼロが圧倒的な民意だ」として再稼働を非難しました。新日本婦人の会県本部の前田信子副会長は行き場のない使用済み核燃料が増え続ける問題を訴え、日本共産党のさとう正雄県議は北海道の地震で起きた「ブラックアウト」を教訓に、「発電は再生可能エネルギーを普及させて地域分散型にするべきだ」と強調しました。

高浜発電所周りで、デモなどの抗議行動のほか、申し入れが行われ、日本共産党のわたなべ孝高浜町議、北原武道若狹町議、さ

かがみ和代小浜市議候補が参加しました。